

## 令和5年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業 事業報告書

自治体名

東京都

## 【基本情報】

フリガナ	トクテイヒイリカドウホウシアンフクシハイ
法人名	特定非営利活動法人あん福祉会
フリガナ	アンフクシハイ
事業所名	あん工房
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
就労継続支援B型	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休・休職は除く）】	2.2人
ICT機器等導入完了日	令和 6年 2月 1 日

※行・列の追加は行わないでください。

## (1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	
シフト表作成	
給与業務	

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

## (2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備 考
⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト	②情報の共有化	Coreあすなろクラウド5年契約シングルパック	1	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次のの中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
②職員間の情報伝達・情報共有	4人	32件	384件	30分	192時間	48時間	
③請求業務	3人	18件	216件	40分	144時間	48時間	
		0件			0時間	#DIV/0!	
		0件			0時間	#DIV/0!	
		0件			0時間	#DIV/0!	
		50件	600件	70分	336時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

職員間の情報伝達・情報共有：週平均8件の施設外就労があり月4週分で算出。

請求業務：18件…事業所の利用者数の月平均から算出。

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

職員間の情報伝達・情報共有：施設外就労から事業所内へ戻りにかかる所要時間、また施設外での記録をメモする時間を基に算出。

請求業務…1件の請求業務処理時間に基づいて算出。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
②職員間の情報伝達・情報共有	4人	32件	384件	25分	160時間	40時間	
③請求業務	3人	18件	216件	35分	126時間	42時間	
		0件			0時間	#DIV/0!	
		0件			0時間	#DIV/0!	
		0件			0時間	#DIV/0!	
		50件	600件	60分	286時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

件数の変化なし

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

職員間の情報伝達・情報共有：週平均8件の施設外就労があり月4週分で算出。→システム導入により事業所外での直接記録入力が可能となりメモ記載の時間が短縮され、またリアルタイムに情報共有できるようになり、戻り後の情報共有・報告時間が短縮された。

請求業務：18件…事業所の利用者数の月平均から算出。→記録連動により実績入力の手間が省略され業務時間が削減された。

年間業務時間数削減率 (%)

14.9%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
	0ページ	
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
	0ページ	
	0ページ	
	0ページ	
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率 (%)

#DIV/0!

#### (4) ICT機器等の導入効果

##### ① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

事業所外での台帳や支援記録を福祉介護業務システムで確認できるようにし、その場での利用者支援に活用できるようにシステムのクラウド化を行いました。  
また支援記録の入力も事業所外で行えるようになるため、その場ですぐシステムに直積記録入力でき、転記の手間や、時間が空いたことによる記録入力の漏れを防ぐことができる。  
さらに記録入力と請求業務の連携機能によって、請求業務担当の実績入力の時間を削減させた。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

##### ② ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果	
<input type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。	
<input type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。	
<input type="checkbox"/> 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減された。	
<input type="checkbox"/> 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。	
<input type="checkbox"/> 5 その他の効果があった。	
<input type="checkbox"/> 6 効果がなかった。	

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

##### ソフトウェア導入による効果

<input type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input checked="" type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/> 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input checked="" type="checkbox"/> 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/> 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

##### ③ ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

職員間の情報伝達・情報共有：週平均8件の施設外就労があり月4週分で算出。→システム導入により事業所外での直接記録入力が可能となりメモ記載の時間が短縮され、またリアルタイムに情報共有ができるようになり、戻り後の情報共有・報告時間が短縮された。

請求業務：18件…事業所の利用者数の月平均から算出。一記録連動により実績入力の手間が省略され業務時間が削減された。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

##### ④ ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

事務作業を短縮させたことで、利用者支援（ケース会議などの間接支援を含む）に充てる時間を増やすことができ始めている。まだ1か月間の使用なのでこれからさらなる業務効率化を図ることでより利用者支援の時間を充実させる予定である。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

#### (5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。